

# 被爆体験講話

—被爆体験を次世代へ語り継ぎたい—

被爆者の方々も高齢となり、直接話を聞ける機会が少なくなってきています。今回、広島市より証言者の方が3年ぶりに会津若松市へいらっしゃいます。皆様ぜひご参加ください。



- 米軍撮影／広島平和記念資料館提供 -



被爆体験証言者：梶本 淑子 さん

高等女学校3年生であった14歳のとき、爆心地から2.3km離れた動員先の工場で、飛行機のプロペラ部品を作る作業中に被爆。

平成12年に（公財）広島平和文化センターから被爆体験証言者を委嘱され、以降、修学旅行で広島を訪問する多くの小中高校生、海外からの来訪者等に、被爆体験を語っている。

また、これまで、アメリカ、スペイン、ハンガリーなど、海外でも証言を行っている。

**日時** 7月9日（土）10:00～11:30（開場9:45～）

**会場** 生涯学習総合センター（會津稽古堂）多目的ホール  
会津若松市栄町3番50号（電話0242-22-4700）

※ 駐車場は2時間まで無料です。  
※ 駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

**定員** 先着90名 **参加費** 無料

**申込方法** 会津若松市 総務課まで電話・FAX・Eメールにてお申込ください。市ホームページのメール送信フォームからも申込できます。お名前・参加人数・連絡先をお伝えください。

**申込先** 会津若松市 総務課 電話0242-39-1211 FAX 0242-39-1410  
somu@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp

個人名（代表者名）・団体名	参加人数	連絡先（電話）

※手話通訳あり 必要な方は○を付けてください。→ 手話通訳